

# 第 10 次帯広市交通安全計画に関する答申書

平成 27 年 12 月 17 日

帯広市交通安全市民会議

はじめに

去る平成27年11月25日に市長より帯広市交通安全市民会議に諮問されました第10次帯広市交通安全計画原案の作成に関し、交通安全に係る現状認識について、交通事故の特徴と課題について、目標について、交通安全施策についての4つの事項について集中的な審議を行い、意見をとりまとめましたので答申いたします。

## 1 交通安全に係る現状認識について

国、北海道、帯広市による第9次の交通安全計画に基づく各種の対策により、市内における交通事故発生件数及び交通事故による負傷者数は減少しました。しかし、その数は依然として多いものであり、交通事故死者数も従前と比べて少なくなったとはいえ、近年は減少幅が頭打ちとなっている中、尊い命が失われる厳しい状況が続いています。

これまでの対策の成果を踏まえ、今後も事故の要因とあわせて課題を精査し、目標を掲げて交通安全教育及び広報活動の充実と道路交通環境の整備を進めることにより、事故を防ぐことができるとともに、救助・救急活動を充実して被害を最小限に抑えることができるものと考えます。

また、これまで交通事故が減少してきた理由のひとつに、車両安全装置などの新技術の開発・導入が指摘されていることから、その一層の普及や活用にも留意する必要があると考えます。

### 2-1 交通事故の特徴について

今後、重点的に対策が必要となる交通事故の特徴は、次のとおりです。

① 市内では安全確認不足や前方不注意、一時不停止、信号無視を原因とする事故が発生しています。車がスピードを出したまま交差点や住宅街を走るため人身事故の危険性を増やしています。また、北海道内では飲酒運転による重大事故の発生が後を絶ちません。

② 団塊の世代が高齢に達し高齢者が増加するのに伴い、高齢ドライバーや高齢歩行者が関係する事故が増加しています。視力低下、反応の遅れ、判断ミスなどによる、高齢者特有の事故原因があるといわれています。

高齢化が進展する中で、認知症の高齢者も増加しています。今後、著しい低速運転や高速道路等の逆走など認知症の影響によるとみられる事故の増加が懸念されます。

- ③ 市内では、歩道を通行する自転車が多いほか、一時停止無視による事故が発生しています。車のドライバーからは自転車の歩道通行を望む声も聞かれます。自転車が軽車両としてより歩行者と同じ位置づけと考えられる背景には、自転車のルールやマナーの認識不足が原因であると考えられます。

また、スポーツ自転車や電動アシスト自転車などの購入が増え、スピードの出る自転車に関わる交通事故の増加が懸念されます。

- ④ 子どもたちの道路への飛び出し、自転車の並走やスマホ運転が見られます。交通事故は命を奪う怖いものであると十分に理解させるため、安全に対する意識を高める必要があります。

## 2-2 交通事故の課題について

前述の交通事故の特徴も踏まえ、次のとおり、交通安全教育及び広報活動の充実、道路交通環境整備の充実、救助・救急活動の充実の3つの視点から課題を整理することが望ましいと考えます。

### (1) 交通安全教育及び広報活動の充実について

高齢者対策、自転車の安全利用の推進、効果的な安全意識の啓発及び飲酒運転根絶に向けた規範意識の確立が課題であると考えます。

- ① 高齢者対策では、高齢ドライバーが自らの意識を高めるための自動車運転技能体験会の継続をはじめ、免許自主返納制度の周知の取組み、高齢歩行者に対する交通教室の開催、薄暮時の道路横断の危険性周知の取組みのほか、反射材用品の普及を図る必要があります。

また、認知症高齢者による車両運転を防止するため、家族や関係者に対して協力を啓発する必要があります。

- ② 自転車の安全利用では、小中学校の自転車安全利用教室の実施、特に現在取組みの少ない中学校における取組みの強化とともに、自転車事故の負傷者が最も多い高校生に対する交通マナーやルールの啓発を図る必要があります。

また、高齢者に対する自転車の安全利用の啓発においては、冬季利用の危険性を周知する必要があります。

- ③ 効果的な安全意識の啓発では、子どもに対する交通安全教室において、交通事故の悲惨さの理解を助けるため、交通事故被害者の思いや視点を取り入れる必要があります。

- ④ 飲酒運転の根絶に向けた規範意識の確立では、北海道内で飲酒運転による重大事故が続いていることから、関係機関や団体と連携して啓発活動に取り組む必要があります。

## (2) 道路交通環境の整備について

車両速度の低減対策、高齢者対策、自転車の走行空間の確保対策、通学路対策が課題であると考えます。

- ① 車両速度の低減対策では、交差点や住宅街において速度低減を目的とした道路施設整備を進めるとともに、施設の効果を高めるため、その目的などについて市民への周知を図る必要があります。
- ② 高齢者対策では、高齢者による車の運転機会を減らすため、バスなどの公共交通機関の利用促進を継続するとともに、夜間の運転は見づらいという声が高齢ドライバーにあることから、反射材入りの道路標識を使うほか、街路樹の剪定を行うなど見やすさを確保する必要があります。
- ③ 自転車の走行空間の確保対策では、区画線や通行帯の色による分けを進める必要があります。
- ④ 通学路対策では、安全な通学のための歩道整備を進めるとともに、学校周辺の交差点において見通しを確保するための除雪や排雪を実施する必要があります。

## (3) 救助・救急活動の充実について

交通事故被害を軽減するため、重傷負傷者に対する救急救命体制の充実が課題であると考えます。

## 3 目標について

第9次計画の目標「死者数をゼロに近づける」、「交通事故発生件数と負傷者数を確実に減少させる」は、第10次計画においても有効であると考えます。前述の課題等を踏まえ、次の目標を加えて交通安全施策の一層の推進を図ることが望ましいと考えます。

- ・ 高齢ドライバーによる交通事故発生件数の減少
- ・ 高校生の自転車事故負傷者数の減少

#### 4 交通安全施策について

今後の目標の実現に向けては、交通事故の特徴や課題に、より効果的に対応していくため、次の取組みなどのより具体的な施策等を検討していくことが重要であると考えます。

##### (1) 交通安全教育及び広報活動の充実に関して

###### ① 自転車の安全利用

- ・ 自転車ヘルメット着用啓発
- ・ 中高校生に対する自転車事故による損害賠償責任を含む交通ルールやマナーの周知啓発

###### ② 効果的な交通安全意識の啓発

- ・ 参加・体験型の交通安全教育の取組み
- ・ 紙芝居や人形劇等の視聴覚教材の利用
- ・ 反射材の配付ではなく直接貼付する活動を重視した取組み
- ・ 行事や制度に係る情報発信方法の工夫や改善

###### ③ 飲酒運転の根絶に向けた規範意識の確立

- ・ 道条例等を踏まえた取組みの強化

##### (2) 交通安全環境の整備に関して

- ・ 冬季における滑り止め剤散布の継続
- ・ 高齢者おでかけサポートバス事業など生活の足を支える取組み
- ・ 信号機設置に向けた具体的取組み

おわりに

市長におかれましては、この答申書の内容を今後の交通安全計画に充分生かされるとともに、交通安全都市・帯広として交通事故のない安全な地域社会の実現に着実に取組まれることを強く期待します。

## 資 料

### 1 会議等経過

- ① 日時 平成 26 年 9 月 1 日（月）から 10 月 31 日（金）まで  
内容 交通安全に関する意識調査の実施
- ② 日時 平成 27 年 1 月 8 日（木）13：24－15：10  
場所 市役所庁舎 10 階第 5 A 会議室  
内容 帯広市交通安全市民会議を開催、交通安全に関する意識調査結果の報告
- ③ 日時 平成 27 年 10 月 23 日（金）  
内容 国の第 10 次交通安全基本計画中間案を各委員に情報提供
- ④ 日時 平成 27 年 11 月 5 日（木）から 17 日（火）まで  
内容 交通安全対策の実施状況、交通事故の推移と発生状況、第 10 次帯広市交通安全計画について各委員に説明、事前に委員意見を募る
- ⑤ 日時 平成 27 年 11 月 25 日（水） 13：30－15：02  
場所 市役所庁舎 10 階第 5 A 会議室  
内容 帯広市交通安全市民会議を開催、諮問、第 10 次帯広市交通安全計画について意見交換
- ⑥ 日時 平成 27 年 12 月 4 日（金） 9：00－10：47  
場所 市役所庁舎 10 階第 5 B 会議室  
内容 帯広市交通安全市民会議を開催、第 10 次帯広市交通安全計画について意見交換、答申書（案）を確認
- ⑦ 日時 平成 27 年 12 月 17 日（木）  
場所 市役所庁舎 4 階第 2 応接室  
内容 答申書 提出

## 2 帯広市交通安全市民会議委員名簿

大久保 良信	社会福祉法人帯広市社会福祉協議会
奥野 一男	社団法人十勝地区トラック協会
小田 衣代	帯広商工会議所議員
勝部 正志	帯広市PTA連合会
藏田 修治	帯広警察署交通第一課
小島 聖枝	帯広市婦人団体連絡協議会
提谷 武夫	公募委員
澤田 清己	十勝地区バス協会
高木 愛子	帯広市老人クラブ連合会
武田 一夫	国立大学法人 帯広畜産大学
田中 伸佳	北海道十勝バイコロジーをすすめる会
塚田 茂男	帯広市交通安全推進委員連絡協議会
塚本 俊二	十勝地区ハイヤー協会
富樫 崇	北海道十勝総合振興局環境生活課
徳井 郷子	公募委員
野々村 敏夫	帯広市交通安全協会
二川 卓也	一般社団法人日本二輪車普及安全協会帯広支所

(五十音順)